



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 県協会

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会
- 地区大会

- 男子
- 女子

試合番号 **玉名-男9**

年月日 **2019年8月4日(日)**
大会名 **令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

公 式 記 録 用 紙

A		府立洛北高等学校						愛知高等学校						B											
熊本県		玉名市				玉名市総合体育館						1回戦													
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m70-277外	A	B											
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数														
	1/1		1	2 前半	3	1	2 後半	3		1/1															
			1059	1954		2800	2133																		
No.	府立洛北高等学校						G	W	2'	2'	D	DR	No.	愛知高等学校						G	W	2'	2'	D	DR
1	藤田 淳幹												1	加藤 将輝											
4	伊藤 篤博						2						2	本間 元裕											
6	八田 将吾						5						4	三谷 光翼						4					
7 C	大麻 航暉						5						5	小切間 慶大											
8	木村 道人						5						6	速水 遼馬						2					
9	辻本 光太郎												7	平田 泰士						1					
10	西島 一輝												8	加藤 瞳真						1					
11	武智 薫						2						9	水谷 優						6					
14	福田 敦大												10	松野尾 航生						2					
15	福田 紘也						1						11	打越 悠真						1	1				
16	荒田 隼弥												12	大森 淳矢											
17	砂川 翔												13	高橋 哲汰						5					
19	當房 歩大												20 C	森本 大貴						10					
20	宇野 陸斗						2						21	小林 翔汰						3	1				
役員A	佐久間 良幸												役員A	川瀬 秀一											
役員B	小谷 佳弘												役員B	奥村 卓巳											
役員C	黒田 美代子												役員C	大橋 慶											
役員D													役員D												

A **佐久間 良幸** チーム役員A署名 **川瀬 秀一** B

レフェリー	小田 健介	鈴木 孝明	小田 健介	鈴木 孝明
TD	田中 一則	飯田 一郎	田中 一則	飯田 一郎
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付者失格(D)内特記事項に報告書として内容を記入

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 4日 日曜
会場	玉名市総合体育館
種別	男子
回戦	1回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	愛知高等学校	35	22	15-9	7MC
後半					
20-13					
第1延長		第2延長			
—		—		—	
—		—		—	

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	両チームとも、3-2-1ディフェンスをベースにした守備隊形。洛北高校がスペースをうまくついてポスト、カットインと続けざまに得点すると、愛知高校は速攻、ロングシュートで反撃。その後愛知高校は、水谷のフェイントからのシュートや森本のロングシュートなどで、得点を重ね、守ってもボールを持っているプレイヤーにはしっかりとコンタクトし、不用意なパスはすかさずパスカットし、17分には全員が走り流れるような速攻のつながりから、小林がシュートを決め8対4とすると、がぜん盛り上がった。このまま愛知ペースでいくかと思われたが、洛北もダブルポストで反撃し八田のポストシュートで応戦。しかし、愛知はその後も攻撃の手を緩めることなく、パスカットから、三谷、平田と続けざまに得点し、前半を6点リードで折り返した。
後半	後半は、洛北大麻、愛知森本のロングシュートが互いに炸裂する。洛北は、伊藤のシュートが惜しくもパーに当たるが、そのルーズボールをポストの福田がしっかり取りこれを沈める。愛知がポストシュート、水谷のステップやカットインシュートで得点を重ねるのに対し、洛北もクイックスタートや7人攻撃で応戦し、何とか食い下がっていく。洛北は8点差がついたところでの残り15分、ディフェンスラインを大きく上げてきた。しかし愛知は慌てることなく、スペースに走りこんだ松野尾がシュートを決める。残り9分、愛知が退場者を出したところでタイムアウトを要求。洛北にとっては点差を縮めるチャンスであったが、このチャンスを生かしきれなかった。テンポのいいパス回しと、切れのある2人のクロスプレーが随所に光った愛知が終始リードを保って勝利した。

記入者 松本 政之